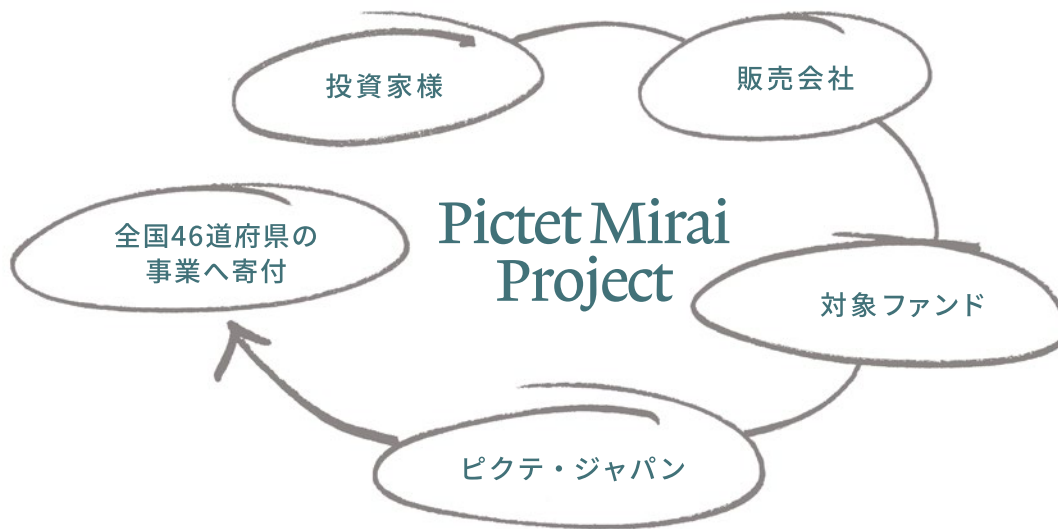


# 地域社会とつながる ピクテ・ミライ・プロジェクト

210余年の歴史を持つピクテ・グループは、  
経営理念の中核にある「サステナビリティ」のもと、  
さまざまな形で地域社会への還元に努めて参りました。

ピクテ・ミライ・プロジェクトは寄付を通じて日本の地域社会に還元し、  
日本のサステナブルな未来に貢献する取り組みです。  
ピクテ・ジャパンが受取る収益（信託報酬）の一部を、  
対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて配分し、  
46道府県<sup>※</sup>の地域再生計画に基づく事業に寄付します。



当プロジェクトの  
主な寄付のテーマ



環境



教育



栄養



福祉



防災・復興

注：ピクテ・ジャパン（以下、当社）の本社所在地である東京都を除く46道府県 ※原則として、当社が受取る収益（信託報酬）の一部を、各金融機関における対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて、当該金融機関の本社所在地（道府県）に寄付します。また、本社所在地が東京都の金融機関における上記取扱い純資産総額に応じた分は、46道府県に均等配分し寄付します。2022年は約5,280万円の寄付を行いました。※状況等により、上記の方針通りに寄付が行われない場合もあります。※2023年2月時点。将来見直しを行う可能性があります。

2022年度  
寄付先事業例

佐賀県



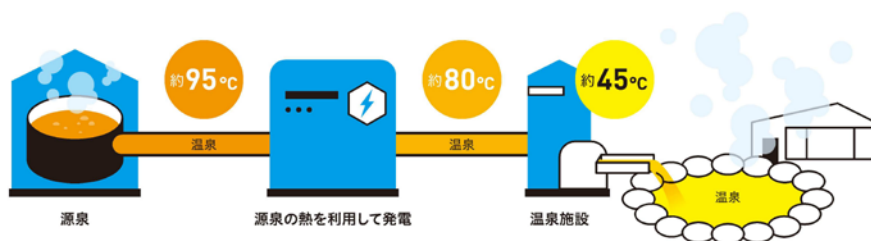
## 再生可能エネルギー等オープンイノベーション 共創プラットフォーム「呼称:CIREn(セイレン)」 研究支援事業

佐賀ゆかりの人・企業・技術・製品等で日本・世界の再エネ等の普及拡大に貢献することを目指し、令和元年10月に佐賀大学と産学官連携組織「CIREn(セイレン)」を設立した。日本の近代化に大きな足跡を残した幕末佐賀藩の令和版「精煉方」となり、オープンイノベーションを基軸とした再エネ等の研究開発や市場開拓、人材育成等を進め、県内関連産業の創出を図る。

### 寄付先事業例のイメージ



温泉温度差発電システム



温泉温度差発電の流れ

※上記はあくまでも寄付先事業例のイメージであり、実際とは異なる場合があります。

皆様の温かいご支援のおかげで、対象ファンドの金融機関における販売のお取扱いは全国各地に広がりました。

その結果、全国46道府県への寄付が実現可能となりましたことを心より御礼申し上げます。今後も長きにわたって共に歩んできたネットワークを通じて、地域の皆様にファンド等を通じた、持続可能な社会に向けての取組みを継続してまいります。

対象ファンド等の詳細は、  
こちらをご覧ください。

